



KKR東海病院

第49号 2015.7

編集責任者 丸田真也(診療部長)

# とうかい

国家公務員共済組合連合会 東海病院  
〒464-8512  
名古屋市千種区千代田橋1-1-1  
TEL 052-711-6131(代)  
FAX 052-712-0052  
<http://www.toukaihos.jp/>

経営推進の取り組み  
事務部長 外山 新二 … 1

第1回市民公開講座より①  
「ピロリ菌と胃がん」  
診療部長 丸田 真也 … 2

第1回市民公開講座より②  
「お薬の取扱いで注意すべきこと」  
薬局長 中野 真行 … 3

新任医師のご紹介  
内科医師 山田 健太 … 4

内視鏡センター拡張について… 4

症例検討会のご案内について… 4

## 『経営推進の取り組み』



東海病院 事務部長 外山 新二

私は平成25年4月から東海病院で勤務しております。

今回は事務部長の立場から東海病院の経営推進の取り組みについての話を少しさせていただきたいと思っております。

4月には病院長の交代もあって病棟などに「ご意見箱」を設置し、入院患者さま全員にご意見用紙を配布（H26.5.21～）、ホームページのリニューアル（H26.11.26.～）、救急患者さまの受入れ強化（H26.8.19～）などいろいろな取り組みを行って参りました。そうした中でKKR本部からは更なる経営推進を指導されたことから、前回の『とうかい』で丸田診療部長が書かれておりますが、樹木の伐採も病院が道路から見えないという問題を改善したものです。また、地域包括ケア病床10床の開設や内視鏡センターの拡張も増収を見込んだ経営推進の一環であります。

また、病診連携の先生方からの紹介患者さまの専用窓口を設置できないかとの声もあり、医事課窓口カウンター上部に『紹介受付』の表示をさせていただきました。さらには、紹介患者さまはオレンジ色のクリアファイルで色分けして分かり易いようにしております。その他、鼠径ヘルニア外来の設置、午前手術の開始、消化器センターの設置、ジェネリック医薬品の採用、市民公開講座の開催など19項目の経営推進に取り組んでおります。

特に、ホームページのリニューアル以前は1日当たり1.6人のアクセスしかありませんでしたが、スマートフォンでも閲覧可能となったことなどから、現在は約125倍のアクセス件数となっております。また、5月15日（金）に開催しました市民公開講座につきましては、延73名の方のご参加をいただき大盛況でした。次回につきましては8月21日（金）に予定しております。

これらの『経営推進』で病院経営が順調に上向かなければ職員の総意である病棟などの建替え工事も進捗しないこととなります。

そのためにも、病診連携医の先生方からの温かいご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

私ども事務部門は、医療現場をサポートする仕事であると同時に、経営管理スタッフの仕事も担当しております。事務部門の機能を果たすため、医療事務・人事・経理・総務・調達など、それぞれの担当の専門性を高め、経営管理のプロフェッショナルとして貢献できるよう、これからも精進してまいります。

### KKRとは?

国家公務員共済組合連合会の  
頭文字をとった略称です。  
私たちはみなさまにKoKoRo(心)の  
こもったサービスを提供するための

誠意 (Sincerity)

奉仕 (Service)

考動 (Science)

3つのSをモットーに、  
地域社会への貢献を目指しています。

## 第1回市民公開講座より ①

## 『ピロリ菌と胃がん』

東海病院 診療部長 丸田 真也

ピロリ菌は胃の粘膜に生息している、らせん形をした細菌（ばい菌）です。胃の中は胃酸のため強い酸性であり、昔から細菌はいないと考えられていました。1982年にオーストラリアのウォレンとマーシャルが胃の中に細菌がいることを報告し、のちにノーベル医学生理学賞を受賞しています。ピロリ菌の感染経路はまだはっきり解明されていませんが、口から感染するのが大部分であると考えられています。わが国のピロリ菌感染者数は約3,500万人とされています。上下水道が十分整備されていなかった時代に生まれた50歳以上で高く半数以上の人々が感染しています。一方若い世代の感染率は年々低くなっています。ピロリ菌に感染すると慢性萎縮性胃炎を引き起こし、一部の人では胃がんが発生することが知られています。ピロリ菌の検査には胃カメラを使う方法と使わない方法があります。使わない方法には抗体検査（血液検査）、尿素呼気試験、便中抗原（検便）があります。ピロリ菌がいる場合は薬を服用してピロリ菌を退治する「除菌療法」をお勧めします。除菌療法とは2種類の抗生物質と胃酸の分泌を抑える薬を同時に1日2回、一週間服用する治療法です。

除菌療法の成功率は70-80%であり、1回目に除菌できなかった場合、抗生物質の一つを別の種類の薬に変えて2回目の除菌療法を行うことができます。2回目の除菌療法の成功率は約90%です。今年、胃酸の分泌を強力に抑える新薬ボノプラザンが発売されました。それを使用した除菌療法の成功率は1回目92.6%、2回目98%と著しく良くなりました。当院でも3月からボノプラザンを使用した除菌療法に切り替えました。

次に、胃がん検診についてお話しします。胃がん検診としてバリウムを用いた胃X線検査が一般的に行われています。平成24年度のX線検査による胃がん検診での胃がん発見率は0.083%（約1,200人に一人）と低率です。一方、胃カメラによる検診での発見率は0.26%（約380人に一人）と良好ですが、胃カメラは医師が行う必要があり検査数に限度があります。最近、胃がんリスク検診（ABC検診）という血液検査による検診が行われるようになりました。ピロリ菌抗体と慢性胃炎の指標である血清ペプシノーゲン（PG）値を測定して胃がんのリスクが高い人を抽出し、その人達に胃カメラと除菌療法を行うというものです。当院の健康管理センターでも胃がんリスク検診（ABC検診）を行っています。過去3年間の結果では、全体の約3分の2はA群（胃がんのリスクがほとんどないグループ）でした。年齢が高くなるほどピロリ菌の感染率が高くなり、A群の割合は低下します。胃がんが見つかったのは2人で、2人ともピロリ菌に感染していました。50歳以上の方は一度ピロリ菌感染の有無を調べることをお勧めします。現在の保険診療では胃カメラをやらないとピロリ菌検査をできないという決まりがあります。胃カメラをやりたくない方は、胃がんリスク検診（ABC検診）を先に受ける方法もあります。



# 第1回市民公開講座を行いました。

## 第1回市民公開講座より ②

### 『お薬の取扱いで注意すべきこと』

東海病院 薬局長 中野 真行



#### 1. 包装シートの誤飲事故について（国民生活センターからのお知らせより）

国民生活センターからの報告によりますと、1錠ずつ切り離れた薬を包装シートごと飲みこんでしまい、喉や食道などを傷つけたという事故が2000年度から2009年度までに86件寄せられているそうです。包装シートごと飲み込んでしまうと自力で取り出すことは難しく、X線写真にも写りにくいため、内視鏡などで取り出すことになり身体への負担も大きくなります。また、飲み込んだことに気付かない場合が殆どとのこと。事故を防ぐためには、1錠ずつに切り離さないこと、高齢者の事故が多く発生していますので周りにも気を配ることが重要です。また、1回分の薬をまとめて袋に入れる「一包化」を活用することも誤飲防止になります。



#### 2. お薬手帳について

お薬手帳は、病院や薬局で薬を処方された際に、その処方内容の記載されたシールを貼ってもらうもので、情報の記録として大事なものです。いつ・どの病院で・どんな薬を処方されているか確認する、飲み合わせ・重複投与などを確認する、副作用のある薬がないか確認する、手術や出血を伴う検査を受ける際に、血液の流れを良くする薬を服用されている方はその薬の服用を予め中止する必要があるためその確認をする、レントゲン検査の際の副作用のある薬を確認する、など、医療従事者が様々な確認をすることができ、患者様の安全に役立ちます。

さらに、病気が悪化して救急搬送された場合、外出時に急に具合が悪くなった場合、不慮の事故に遭遇した場合、大震災などの災害が発生した場合、などにも大変役立ちます。お薬手帳をご希望の方は薬剤師までお申し出下さい。



次回は、8月21日(金)に開催いたします。

時 間 午後3時～4時

場 所 外来待合

講演1 「あなたの骨は大丈夫？」－骨粗鬆症の診断と治療について－

演者 整形外科部長 牧野 仁美

講演2 「1からわかるCT検査」

演者 放射線科技師長 小川 雅大

# 新任医師のご紹介



●内科医師 ●山田 健太(やまだ けんた) ●診療科：内科

平成27年7月より赴任いたしました 山田 健太 と申します。  
平成22年に名古屋大学を卒業しました。名古屋第一赤十字病院で初期研修を行い、同院消化器内科後期研修、医員を経ました。  
前病院では、消化器疾患を中心とした診療を行ってまいりました。  
当院では、消化器疾患、内視鏡はもちろんですが、内科疾患全般の診療にあたらせて頂きます。地域の患者様のために精一杯頑張らせて頂きますので、よろしくお願い申し上げます。

## 内視鏡センターを拡張しました

内視鏡センター長 丸田 真也

当院の内視鏡センターは平成19年8月に診療棟2階に開設しました。内視鏡検査室は3室ありましたが、3つ目の検査室は洗浄スペースに近くかなり手狭でした。当初は年間内視鏡検査数約4,000件であり、2列で十分検査を行えました。その後毎年検査数が増加し平成26年度は検査数が8,000件を超え、3並列で行うことが必要となりました。そこで、今年のゴールデンウィーク中に内視鏡センター拡張工事を行いました。放射線技師室の一部を内視鏡センターの洗浄室と機材室に改築し、診療棟3階に大腸内視鏡前処置室を新設しました。工事中は検査予約待ちが長くなり、皆さまにご迷惑をお掛けいたしました。検査予約待ちがなるべく短くすむように努めますので、宜しくお願い申し上げます。



## 名城病院・東海病院合同症例検討会のご案内

下記の日程にて、名城病院・東海病院合同症例検討会を開催させていただきます。  
詳細が決定次第、ご案内させていただきますのでご出席、よろしくお願いいたします。

日 時 平成27年9月26日(土)  
午後3時～ 症例検討会  
午後5時～ 懇親会  
会 場 KKRホテル名古屋 TEL 052-201-3326  
〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-5-1



## 診療と交通のご案内

診療科 内科 (消化器科・循環器科・呼吸器科)  
外科 (消化器外科・血管外科・一般外科)  
整形外科、泌尿器科、眼科、脳神経外科、皮膚科

受付時間 午前8:30～午前11:30  
※午前8:30～午前11:00(整形外科)

休 診 日 第2・4土曜日  
(第1・3・5土曜日は上記診療時間で受付を行っております)  
日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

所在地 〒464-8512 名古屋市中種区千代田橋1-1-1  
電 話 TEL 052-711-6131 FAX 052-712-0052

アドレス <http://www.toukaihosp.jp/>

交 通 地下鉄・・名城線茶屋ヶ坂駅②番出口より約7分  
バ ス・・基幹バス汁谷下車約1分

